

大賞は「ほたる祭り」が選ばれました

「一地区一自慢」に102件の応募があり12日に表彰式を



6月から7月に開催し幅広い世代が参加

各地区の魅力を見直し、本市への愛着や理解を深める「一地区一自慢コンテスト」を実施しました。それぞれの地域で親しまれ、大切に守り育てられてきた自然や伝統行事など、皆さんの地区から「自慢」を募集し、自慢大賞が田口町の「ほたる祭り」に決まりました。

今年のテーマは「元気」。自治会や団体から百一件もの応募があり、審査会の厳正な審査の結果、大賞以下の各賞が次のとおり選ばれました。表彰式は十二月十一日に市役所で行います。応募のあった百二件すべての

「自慢」は、本市ホームページに掲載していますので、ご覧ください。また、小冊子にまとめ、二月下旬に自治会や小中学校などへ配布する予定です。今回寄せられた「自慢」を広く市内外へ紹介することで、地区のつながりを一層強め、特色あるまちづくりに発展させていきます。

なお、元気賞は、募集時には「UTモア賞(受賞数は三点)」としましたが、審査会で名称と受賞数を変更しました。

- 金賞** 鳥取町自治会「鳥取町メダカくらぶ」
- 銀賞** 天川大島町自治会「劇団ひふみ座」
- 銅賞** 文京町四丁目自治会「文四ふれあい花壇活用による環境美化運動」、力丸町自治会「悪魔はらい」
- 元気賞** 文京町一〜四丁目・天川原町一・二丁目・天川町・第一天川町自治会合同「前橋文京地区高齢者教室・生きがい塾」、小屋原町自治会「歩け歩け大会」、足軽町自治会「足軽町納涼祭」、粕川町月田区自治会「月田の獅子舞」
- …問い合わせは政策課 8906515へ。

妊娠初期の女性に周囲の温かい配慮を

本市と高崎市の連携でバッジやステッカーのデザイン募集

マタニティ・バッジとステッカーのシンボルマークとなるデザインを募集。ぜひ応募ください。応募用紙は本市ホームページからもダウンロードできます。

なお、応募されたデザインに関する一切の権限は本市と高崎市に帰属し、返却しません。また、デザインの一部を変更して

使用することもあります。本市と高崎市では、連携して新たな少子化対策を進めています。妊婦が公共交通機関を利用するときに、車や車を運転するときなどに、周囲の人から温かい配慮が受けられるように「マタニティ・バッジ」「マタニティ・車用ステッカー」を作成し、妊娠の

届け出のときに配布。妊娠初期の女性を守り、安心して子どもを産み育てることができるよう、取り組みを推進する事業です。

対象：本市が高崎市(高崎市と合併を予定している町村を含む)に在住・在勤・在学の人。応募作品：次のすべてを満たし一人三点まで。妊婦であることが

誰にでも理解でき、分かりやすく温かみのあるかわいらしいデザイン。色鉛筆、水彩、パステル、マジックなどの画材を用いたカラー作品。未発表賞。最優秀賞：一人(副賞五万円相当)。優秀賞：五人以内(同一万円相当)。申し込み：12月12日(1月31日(必着)に所定



の申込用紙に記入し、〒371-0014前橋市朝日町三丁目三六 一七・前橋保健センターへ郵送または直接

…問い合わせは同センター 223 8844へ。

差別のない住み良い社会築きましょう

12月4日〜10日は人権週間、16日に「特設相談所」を開設

昭和二十三年十二月十日、第三回国連総会で、世界人権宣言を採択。これを記念し、この日を入権デーと決めました。

わが国では、人権デーを最終日とする十一月四日から十日の一週間を「人権週間」と定め、皆さんに人権尊重思想の普及と高揚を呼び掛けています。

人権週間の強調事項

子どもの人権を守ろう：体罰や虐待を防ぐ。女性の地位を高めよう：女性と男性が対等の立場で協力し責任も分かち合う。高齢者を大切にすることを育てよう：高齢者が生きがいを持って生活ができるよう接する。障害のある人の完全参加と平等を実現しよう：障害のある人となりが対等に生活し活動できる。

社会を築く。部落差別をなくそう。…同和問題について一層理解を深め自らの意識を見つめ直す。刑を終えて出所した人に対する偏見をなくそう。円滑な社会生活を送れるよう取り組む。性的指向による差別をなくそう。…同性愛者などへの偏見をなくす。HIV感染者やハンセン病患者などに対する偏見をなくそう。…感染症などを正しく認識する。アイヌの人々に対する理解を深めよう。…文化を理解し偏見を解消する。性同一性障害を理由とする差別をなくそう。…性同一性障害への理解を深める。犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう。…行き過ぎた報道から人権を守る。インターネットを悪用した人権侵害は止めよう。…モラル向上を図る。ホームレスに



みんなで心の手もつなごう

対する偏見をなくそう。自立を促し、地域社会で解決を図る。外国人の人権を尊重しよう。…文化を尊重し多様性を受け入れる。

人権擁護委員へご相談を

人権擁護委員は、次のとおり

市内に二十一人います。気軽に相談してください。

敬称略

平田雅子(表町一丁目) 梅沢朋子(広瀬町二丁目) 金子恵美子(住吉町一丁目) 青木智教(関根町) 岡喜太郎(二之宮町) 福

高校などへ安心して進学できるように

奨学金の申し込みは22日までに在学している中学校へ

高校や専修学校などへ進学を希望する中学生で、経済的に不安のある人に奨学金を貸与します。

募集期間：12月22日 まで 対

象：次のすべてを満たす市内在住の人。4月に高校(高専)か専修学校の高等課程に進学を希望している。資力がなく修学困難。品行方正、身体健康、学業

優秀。進学後、ほかの育英または奨学金の貸与・給与を受ける予定がない。貸与月額：国・公立：一万二千円、私立：一万八千円。貸与期間：4月から卒業

までの最短修業年限。返還方法：卒業後六カ月から十年間で年四期に分けて返還(無利子、一括・繰り上げ返還も可。大学・短大など上級学校へ進学した人

進学

は在学期間の返還延期も可) 申し込み：在学する中学校へ …問い合わせは学校教育課 8905812へ。